

観光列車『志国土佐 時代（とき）の夜明けのものがたり』でおもてなし フォトコンテスト開催！ 30人の陰の力を繋げようプロジェクト！

高知県立伊野商業高等学校・キャリアビジネス科ツーリズムコースでは、JR四国が土讃線の高知一窪川間で運行している観光列車「志国土佐 時代（とき）の夜明けのものがたり」でおもてなしを生徒が努めています。

「たくさんの人と関わりたい！」「観光列車に乗車して新しい企画にチャレンジしたい！」と乗車を試みていましたが、コロナの感染拡大の影響で、観光列車に乗車してお客様にガイドをしたり、販売をしたりする、私たちの思い描いていたことができない現実が長く続きました。

そこでSNSで効果的に、観光列車の情報発信ができるのではないか！と、2つの企画を実施しました！

企画1. フォトコンテストの開催

お客様や沿線の方々に、列車や列車に関わる人、沿線の風景を写真に収めてもらい、SNS上で想いを繋げ、観光列車をまだ知らない方などにアピールしたいと、開催しました。令和3年10月2日～10月24日で県内外58人から208作品の投稿があり、フォトコンテスト審査会では、JR四国や沿線地域の方に審査をお願いし、副賞も提供していただきました。

企画2. 「30人の陰の力を繋げよう」プロジェクト

「観光列車を陰で支えてくれる方々」にスポットを当てることで、観光列車に関わる人の想いを届ける、見ていただいた方の心を暖かくすることを目的に計画しました。30人には、観光列車をデザインされた方、ピカピカに清掃をしてくださっている方、沿線でおもてなしをされている方、車内のお弁当やトイレトーパーを作っている方、運転手や車掌さんなど様々。この方々に、一人30秒程度で観光列車との繋がりや魅力を語っていただき、ツイッター、インスタグラム、ティックトックの3つのSNSで発信するというものです。令和3年11月24日からメッセージムービーを一人一分ずつ毎日投稿しています。ぜひ下のQRコードからご覧ください。

今回は、観光列車に乗車して、対面でのおもてなしをすることはできませんでした。しかし、だからこそ！お客様とお会いできることの喜び、直接おもてなしができることの大切さ、そして何よりもお客様と一緒に私たちも笑顔でいられる時間がとても貴重に感じられる一年でした。

